令和7年度災害支援ナース養成研修　実施報告

新たに災害支援ナース66名が登録されました

令和7年度災害支援ナース養成研修が終了し、
広島県の登録者は333名となりました。

（2025年10月現在）

研修期間・内容

＜オンデマンド研修＞
令和7年6月～研修日5日前までに受講
（総論（講義）：120分
災害各論（講義）：540分
感染症各論（講義）：540分）

＜集合研修＞
令和7年10月6日・7日
（総論（講義）：60分
災害各論（講義）：270分
感染症各論（講義）：270分）

R6年4月から災害支援ナースの仕組みが変わり、これまでの「災害時の派遣」に加えて、「新興感染症発生・まん延時の派遣」も対応することとなりました。災害支援ナースは「災害・感染症医療業務従事者」として法的に位置付けらます。

グループワークの様子

積極的に発表の手が上がります

発表グループが映し出されています

演習の様子

互いに修了証を手渡しながら労をねぎらいました

＜受講者の声＞受講者アンケートより
・講師が自身の災害支援の経験を交えて講義を行い、「現場の状況を具体的にイメージしながら学ぶことができた」という意見が多く、理解を深める講義となりました。
・グループワークでは、活発な意見交換が行われ、多様な意見を共有することで、考え方が広がったとの声がありました。
・オンデマンド研修では「単元が多く時間が長かったが、繰り返し視聴することができた」、「集合研修後に復習することで理解が深まった」など自分のペースで再確認できる点が好評でした。
・全体を通して「日々の看護にも取り入れたい」「職場でも伝えていきたい」との声が多く寄せられました。